こころざし

発行・編集
深谷市教育委員会学校教育課
〒366-0823 埼玉県深谷市仲町11-1
TEL:048-572-9578　FAX:048-580-3260
E-mail　gakko@city.fukaya.saitama.jp

改めて渋沢栄一翁の精神を受け継ぐ
～第３期深谷市教育振興基本計画スタート～

深谷市教育委員会
教育長　　小柳　光春

今年は関東大震災から１００年の節目の年となります。首都圏を中心とした広い範囲での激しい揺れは、多くの人々の命を奪い、建物の損壊・焼失による社会不安を招きました。このような危難(きなん)に際し、栄一翁の身を案じた家族たちは、故郷、深谷に避難するように勧めましたが、当時、８３歳であった渋沢栄一翁は「こういう時には、私のような老人でもいささかなりとも働いてこそ」と叱りつけ、誰よりも早く震災からの復旧・復興のためにと立ち上がりました。

未曾有(みぞう)の大災害に「落胆ばかりしてはいられない」との信念のもと、被災者のための避難所や臨時病院を設置するとともに、実業家・政治家を巻き込み募金活動等を行い、市民の救済や、市街の再建に尽力しました。

その栄一翁が、生涯を貫いた心構えが「立志の精神」「忠恕のこころ」そして、「支えあうこころ」であり、深谷市教育委員会では、この度、栄一翁の精神を根底に据えた「第３期深谷市教育振興基本計画～立志と忠恕の深谷教育プラン～ふるさとを愛し、夢をもち志高く生きる～」を策定し、新たにスタートしました。

そのような中、現在、持続可能な社会実現のために、人間、地球繁栄の行動計画としてＳＤＧｓが、世界中全ての社会活動の基盤に据えられていますが、栄一翁の精神、その心は、ＳＤＧｓの目指すところと大きく重なり合います。このことを踏まえ、深谷市では、今後、『深谷市ＳＤＧｓ未来都市計画～渋沢栄一「論語と算盤」の教えを踏まえた深谷版ＳＤＧｓの実践～』を策定し、施策の展開に努めていくこととしております。

改めて、社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難な時代を迎えている中で、社会をたくましく生き抜く児童生徒を育むためには、教育において一人一人の資質・能力を確実に育成することが重要となります。そのために、今後、①持続可能な社会の創り手となること、②人と人とのつながりや、関係性を大切にしながら幸福や生きがいを感じられるようになること、などに主眼を置いた教育活動を積極的に推進してまいります。

立志と忠恕の深谷教育プラン
～　第３期深谷市教育振興基本計画　～

教育を取り巻く社会動向
- 人口減少と少子高齢化
- 技術革新
- 持続可能な社会づくりの推進
- 社会経済情勢の急激な変化
- 家庭・地域コミュニティの状況の変化
- 新型コロナウイルス感染症の影響

基本理念
立志と忠恕の深谷教育
～ふるさとを愛し、夢をもち志高く生きる～

3つの視点
- 夢・志と生きる力
- 共生と支え合い
- 生涯の学びと活躍

基本目標

Ⅰ　確かな学力と自立する力の育成
・「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」を育む教育活動を推進します。

Ⅱ　豊かな心と健やかな体の育成
・まごころと思いやりを育む教育活動を推進し、いじめ防止対策・生徒指導などの充実を図ります。

Ⅲ　地域に信頼される学校教育の推進
・地域の核となる学校づくり、信頼される教職員の育成を推進します。

Ⅳ　家庭・地域・学校の連携と協働による教育力の向上
・家庭、地域、学校が連携・協働した教育を推進するとともに、家庭教育支援体制の充実を図ります。

Ⅴ　生涯学習の推進
・多様化する学習ニーズに対応し、学習活動機会の充実や社会教育施設の環境を整備します。

Ⅵ　スポーツ・レクリエーションの推進
・スポーツ・レクリエーション活動機会の充実や体育施設の環境を整備します。

Ⅶ　郷土の歴史・文化の継承と活用
・文化・芸術活動の推進、郷土の偉人顕彰と文化財の保存・活用を推進します。

第3期深谷市
教育振興基本計画

家庭・地域・学校が
一体となって

情報モラル・情報リテラシーを育む！
～子供を守り、育てるために“繰り返し、繰り返し”働きかけましょう～

安全に使いこなそうスマホやネット
保護者がフィルタリングについて、しっかり理解しましょう。

子どもの不安　・友だち同士で、ルールとマナーを守って利用しましょう。

- すぐにメッセージを返さないことで、友だち関係が崩れてしまうのが怖い。
- 集中して勉強したいけど、メッセージが届くたびに中断される。
- LINE 外しや、誹謗中傷を書かれるなどの「ネットいじめ」にあう。
- 自分が写った画像や、個人情報が SNS に勝手にアップされる。
- 夜遅くまで、アプリやネットゲームがやめられない。
- 家庭学習の時間が減ってしまったり、十分な睡眠時間が取れない。

保護者の心配　・子どもがどんな使い方をしているか、知っておきましょう。

- アダルトサイトや出会い系サイトなどへアクセスしていないか。
- 架空請求の被害など、犯罪に巻き込まれていないか。
- 課金ゲームなどで、高額の請求をされていないか。
- ネットで知り合った相手に名前や住所を教えたり、実際に会ったりしていないか。
- 誰かを誹謗中傷するような書き込みをして、加害者になっていないか。
- 遊び半分で、不適切な画像や動画を公開するようなことはないか。

安心ふっかネット

家庭の
安心ふっかネット

今、こんなトラブルが起きています！

事例１　無料通話アプリなどでの悪口や恥ずかしい画像の拡散
事例２　SNSで知り合った人に会いに行く
事例３　SNS利用による位置情報の漏洩とそれに伴う脅迫・物損被害

深谷市立小・中学校では、GIGAスクール構想のもとに情報機器の正しい使い方等の学習を通して、【情報モラルの醸成】と【情報リテラシーの向上】に取り組んでいます。１人１台iPadの活用においては、学習利用を目的とし、フィルタリング等安全面に配慮した設定をしております。

一方、個人所有のスマホを使用してのトラブルが依然として起きています。

深谷市教育委員会では、学校、家庭、地域が一体となり、インターネット使用のルール「安心ふっかネット」「家庭の安心ふっかネット」を策定し、発信しております。

今後も、子供を守り、育てるために、繰り返し働きかけ、相手を思いやる心と情報の真偽を見極める力を地域全体で育んでいきましょう。

※　**ご家庭でお子さんと話し合い、家庭のルールを決めましょう。**
※　**お子さんが間違った使い方をしていないか常に確認しましょう。**
（深谷市PTA連合会「家庭の 安心ふっかネット」より）

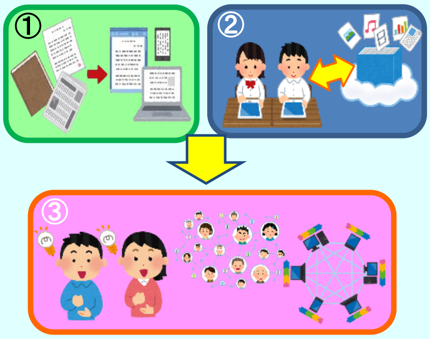
「インターネットの向こうにいる相手を思いやり、正しく使おう！」

教育DX（デジタルトランスフォーメーション）を見据えて

現在、DXは社会全体で推進されており、教育においてもDXが求められています。トランスフォーメーションは「変革」のことであり、DXとはデジタルによって生活、社会、経済などをよりよいものに変革していくことです。

DXに向かう道のりは、①「情報のデータ化【デジタイゼーション】（紙などのアナログな情報をデジタル化）」、②「業務のICT化【デジタライゼーション】（ＩＣＴ・データ活用による改善・最適化）」、③「デジタルによる価値創造【デジタルトランスフォーメーション】（学習モデルの構造等を質的に変革）」の3つの段階があり、第3段階は第1、2段階が完了していない限り到来することはありません。

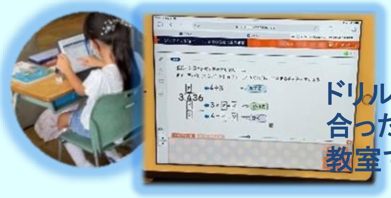
ここで、令和2年10月に本格的にスタートした深谷市の、「渋沢 spirit in ふかやGIGAスクール」の取組の一部を紹介します。



① たよりもデジタル配信

①
連絡もiPadでスムーズに確認

カラーでわかりやすく


②
ドリルアプリで自分に合った学びを教室でも家庭でも

②

②グループで共同編集

友達と協力しながら考えを深める

②
デジタルで考える

アナログで考える

クラウドを活用することで、他の人の考えが可視化される。

↓

子供は他者の考え等を参考にしながら、自分のやり方や考えを膨らませていく。

教師は最後だけでなく途中の状況を把握し、適切な指導・支援につなげていく。

DX（デジタルトランスフォーメーション）を見据えて<u>第１段階から第２段階への移行</u>、<u>第２段階の充実</u>を進めていきます!!